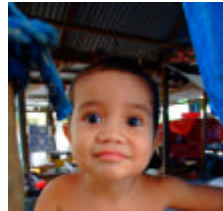




Teera 8 才 /

英語の教科書を読んでいる時とお母さんの手伝いをしている時が楽しいです。将来は学校の先生になりたい。



Peati 13 才 /

海面上昇は怖いです。

もし海面が上がったら明かりやご飯などを用意します。



写真展 ツバルに生きる1万人の人類

~ A Piece of the EARTH ~

Photo credit: Shuuichi Endou (Tuvalu Overview)

透き通る青い海に囲まれ、自然の恩恵を受けて生きる人々。

昔から変わらない暮らしと地球温暖化が島に及ぼす変化を、美しい風景と人々の写真で紹介します。

南太平洋の小さな島国、ツバルに生きる人々と私たち。

みんな地球の一部です。

2/6(sat), 2/7(sun) 10:00 ~ 17:00 @ せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア

主催 : ストップ温暖化センターみやぎ

〒980-0801 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5階

財団法人みやぎ環境とくらし・ネットワーク (MELON)内

TEL / 022-301-9145 FAX / 022-219-5713

Mai ♪ stop_gw@miyagi.jpn.org

後援 : 宮城県 仙台市

写真 : 遠藤秀一 (写真家 / 特定非営利活動法人 Tuvalu Overview 代表理事)

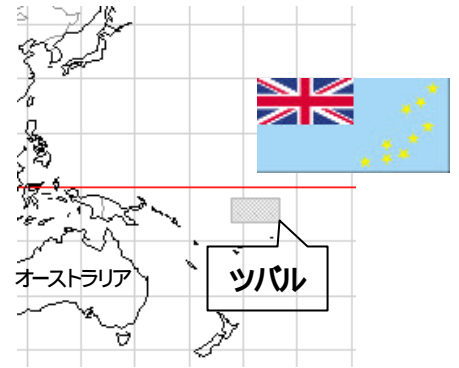
申込み不要
入場無料

ツバルの今、私たちの未来

ツバルってどんなところ？ about Tuvalu

国名 : ツバル (Tuvalu) 首都 : フナフチ 言語 : 英語、ツバル語

日本のはるか南東に位置する島国、ツバル。9つの小さな島からなる総面積わずか26平方kmほどのこの国に、約1万人の人々が暮らしています。彼らは、紀元前に近隣の島から移り住んできてから現在に至るまで、海で獲れた魚やココナツ、タロイモを食べる自給自足の生活を営んでいます。エメラルドグリーンの海とヤシの木に囲まれた国土は、「楽園」という言葉がぴったりの美しい風景です。



地球温暖化 ツバルで何が起きているの？

Climate change what's happening in Tuvalu?



満潮時
浸水し、建物が水面に写ります

ツバルでは、20世紀後半から地球温暖化の影響といわれる海面上昇の被害が目立つようになってきました。

ツバルの平均海拔は約2mしかありません。そのため、わずかな海面上昇であっても人々の生活に大きな影響を及ぼします。左の写真は島の集会所の写真です。ツバルの国土はさんご礁でできているため、海水が浸透しやすく、満潮時には地中を伝って海水が入り込んできてしまいます。生活の場に浸水するだけでなく、海水による塩害のために地下水が飲めなくなったり、畑の作物が枯れたりします。しかしこれらは、地球温暖化による被害のほんの一部です。

時間が止まったようなゆったりとした生き方、そして2000年以上も守られてきた自然の風景を危機に追いやる地球温暖化。それは、私たちのライフスタイル、そして未来にも深くかかわるものです。

写真家遠藤秀一氏について about Photographer Shuuichi Endou



ツバルの写真を撮り続けている写真家、遠藤秀一氏は1966年福島県生まれ。幼少期には宮城県にも在住していました。大阪芸術大学芸術学部建築学科に在籍中から写真を独学で学び、一般企業に就職した後、2006年にNPO法人 Tuvalu Overview を設立しました。現在はテレビ番組のコーディネーターやエコツアーの企画運営、講演、写真展を通して地球温暖化の問題を訴える活動を精力的に行っています。元環境大臣の小池百合子氏や歌手のU氏、女優の藤原紀香氏らが立ち上げ賛同人となり2007年から続けられている「ツバルに生きる一万人の人類」プロジェクトは海外からも高く評価されており、2009年12月にはポーランドとコペンハーゲンでも写真展が開催されています。今回の写真展はこのプロジェクトからの写真も多数展示されます。

主催団体紹介



ストップ温暖化センターみやぎ (宮城県地球温暖化防止活動推進センター) は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて2000年に発足しました。各市町村のイベントや環境学習講師派遣など、宮城県での地球温暖化防止に関する普及啓発活動を行っています。